

平成20年4月豪雨による桑野川流域の浸水状況について

平成20年4月10日豪雨における桑野川流域の浸水状況を取りまとめましたのでお知らせします。

桑野川において、はん濫注意水位(新野観測所、大原観測所)を超え、桑野川流域で床上2戸、床下47戸に及ぶ浸水被害が発生しました。

本出水による被害状況等を近年の洪水と比べると、新野、大原観測所地点での水位低下や浸水戸数の減少が確認されました。平成10年度以降の、直轄・補助河川災害復旧等関連緊急事業(平成11年度～平成14年度)、及び直轄床上浸水対策特別緊急事業(平成14年度～平成20年度:事業中)による、河床掘削や引堤による河道拡大や排水ポンプ場の整備による効果が現れたものと考えられます。

尚、現在、さらに詳しい被害状況等については調査中です。

平成20年4月18日(金)

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所
徳島県 県土整備部 河川課

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

電話(0884)22-6461

副所長 藤岡 康男 内線(204)

調査・品質確保課長 野本 粹浩 内線(351)

徳島県 県土整備部 河川課

電話(088)621-2574(直通)

課長 森兼 永一郎

主幹 松野 幸博

《 4 / 1 0 豪雨による桑野川流域の浸水状況について 》

○降雨について

新野（県：雨量観測所）

最大時間雨量 68 mm, 最大3時間雨量 152 mm, 最大24時間雨量 228 mm

大原上流平均雨量（国：谷口・大原雨量観測所）

最大時間雨量 53 mm, 最大3時間雨量 135 mm, 最大24時間雨量 215 mm

○水位について

新野（県：水位観測所）

最高水位 6時30分 2.42m

大原（国：水位流量観測所）

最高水位 8時00分 4.97m

○浸水戸数について

桑野川全川において、床上2戸、床下47戸（内、直轄区間は浸水戸数なし）

（既往洪水との比較）

年 月	気象	新野雨量観測所時間雨量			新野水位観測所	浸水戸数 (桑野川全川)		
		1時間雨量 (mm)	3時間雨量 (mm)	24時間雨量 (mm)		床上 (戸)	床下 (戸)	計 (戸)
平成10年5月	低気圧豪雨	79	167	338	3.96	39	128	167
平成10年9月	台風6・7号	122	224	270	3.92	47	145	192
平成11年6月	低気圧豪雨	90	197	329	4.05	48	194	242
平成20年4月	低気圧豪雨	68	152	228	2.42	2	47	49

浸水戸数は水害統計による
尚H20.4は阿南市調査による

年 月	気象	大原雨量観測所時間雨量			大原水位観測所	浸水戸数 (桑野川直轄区間)		
		1時間雨量 (mm)	3時間雨量 (mm)	24時間雨量 (mm)		床上 (戸)	床下 (戸)	計 (戸)
平成10年5月	低気圧豪雨	59	135	307	5.88	12	114	126
平成10年9月	台風6・7号	109	225	290	5.61	1	45	46
平成11年6月	低気圧豪雨	95	233	396	6.19	18	160	178
平成20年4月	低気圧豪雨	53	135	215	4.97	0	0	0

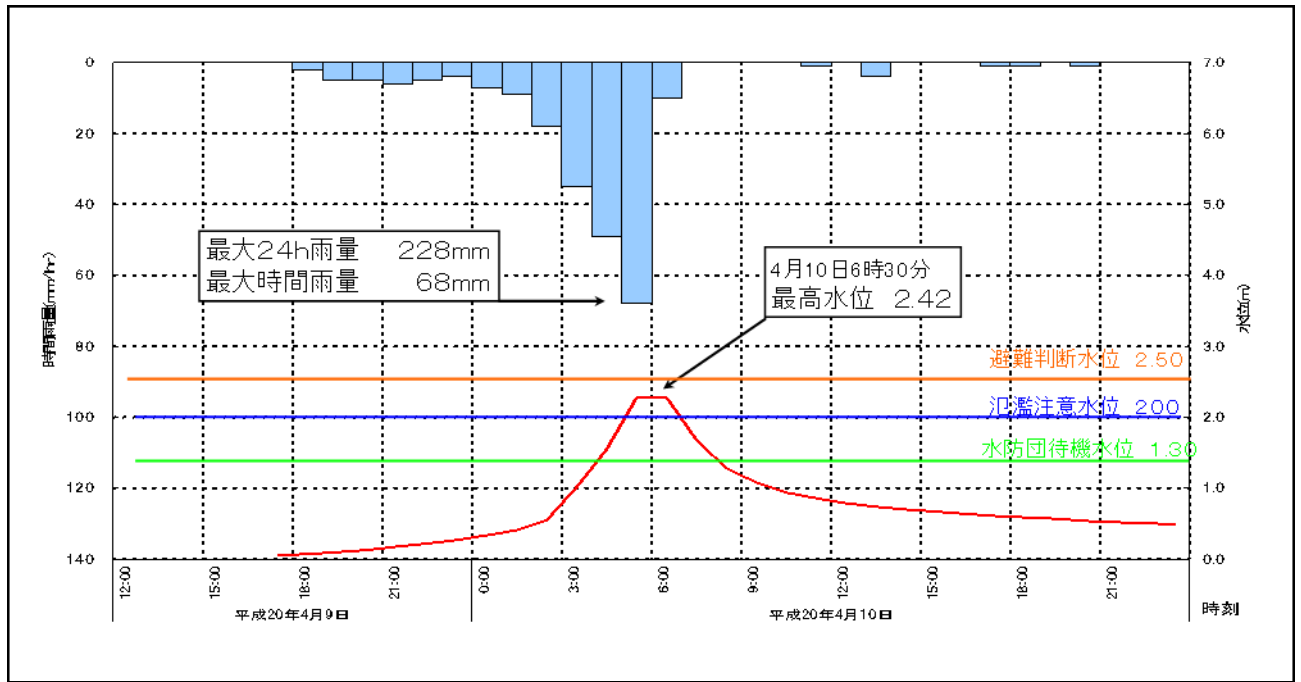
浸水戸数は痕跡調査による

- ・ H20.4 豪雨は、H10.5 豪雨に比べて、最大流量に大きく影響する1時間雨量、3時間雨量がほぼ同規模の降雨であったが、新野観測所の水位は1.54m、大原観測所の水位は0.91m低く、浸水戸数が減少している。
- ・ 平成10年度以降の、直轄・補助河川災害復旧等関連緊急事業（平成11年度～14年度）、及び直轄床上浸水対策特別緊急事業（平成14年度～20年度）による、河床掘削や引堤による河道拡大や排水ポンプ場の整備による効果※が現れたものと考えられる。

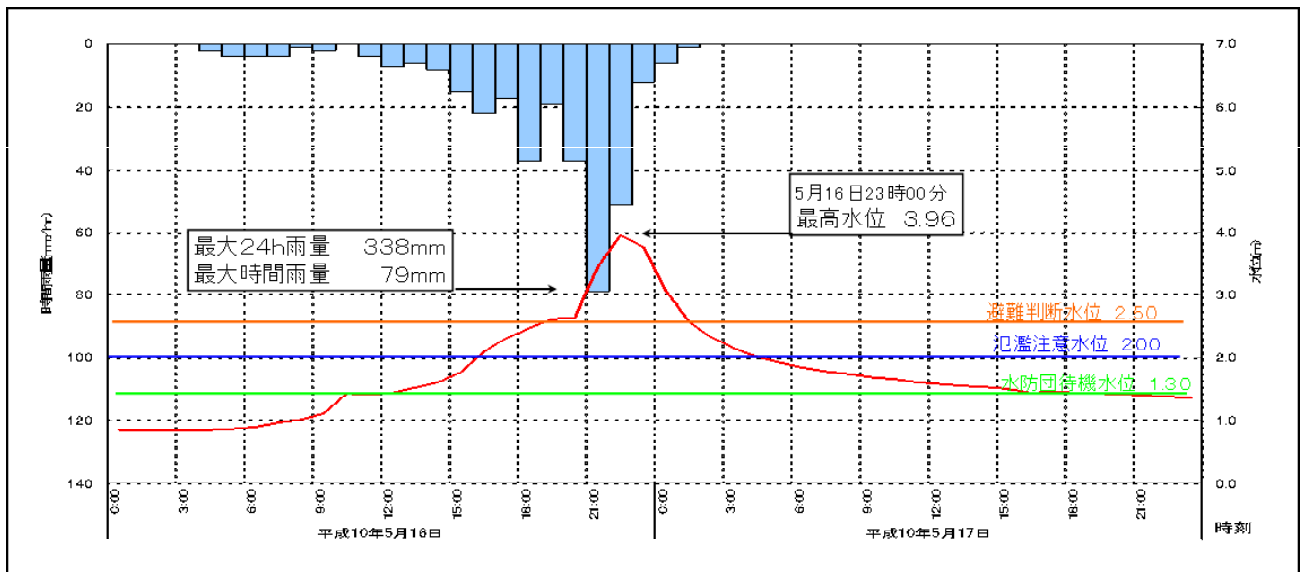
※水位観測データからの推察であり、今後流量調査等の詳細検討を行う。

OH10.5 豪雨との比較

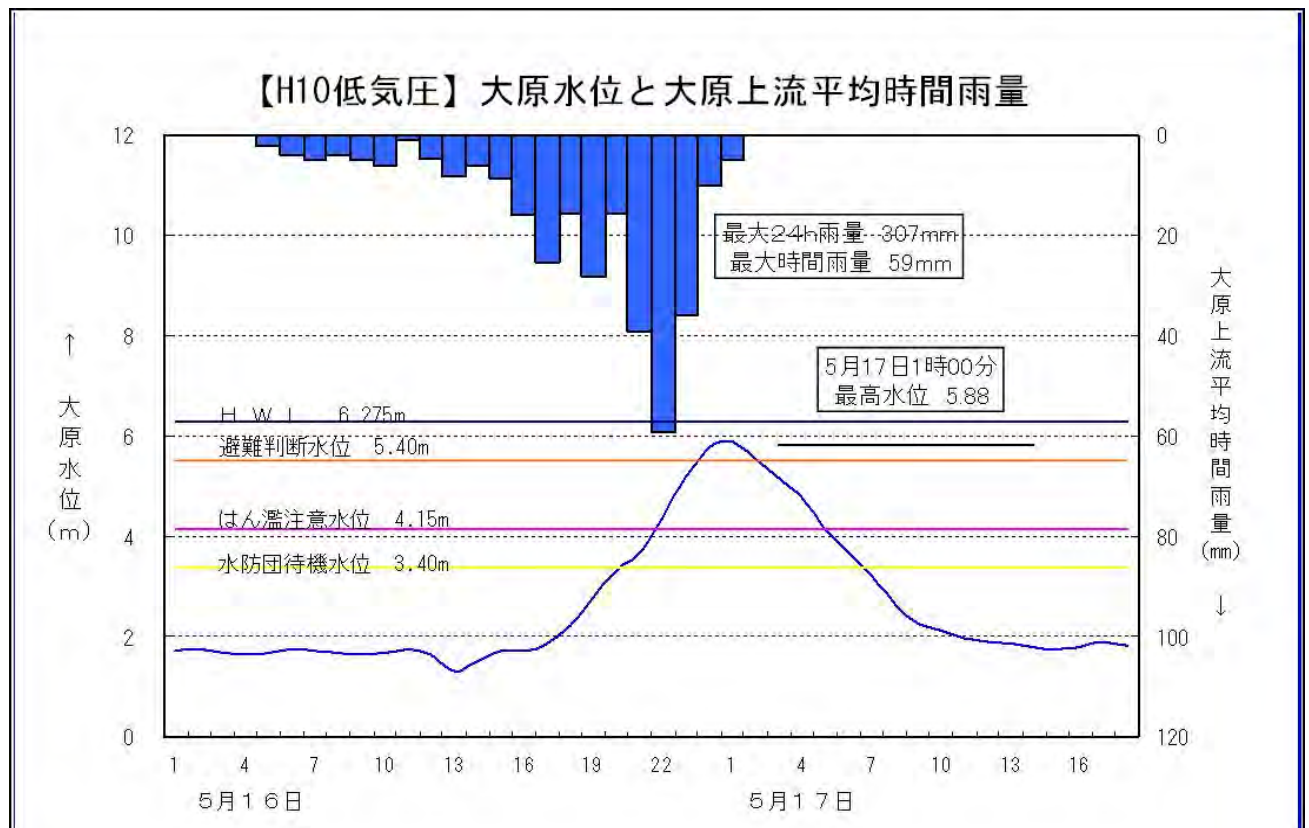
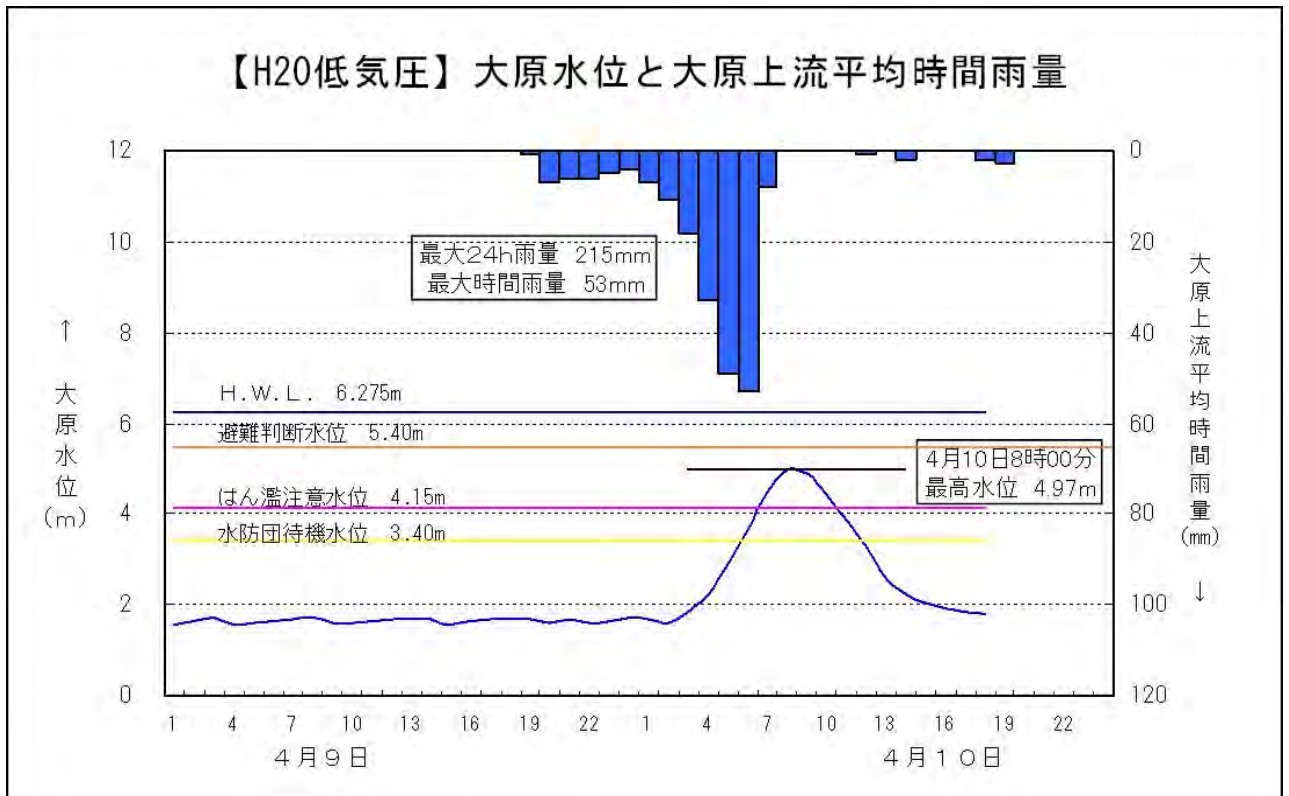
【H20低気圧】新野水位と新野時間雨量



【H10低気圧】新野水位と新野時間雨量



○ H 1 0 . 5 豪雨との比較



①桑野川【川原排水ポンプ場】における事業効果(H20.4.10前線)

川原排水ポンプ場稼働状況(H20.4.10 9時30分)



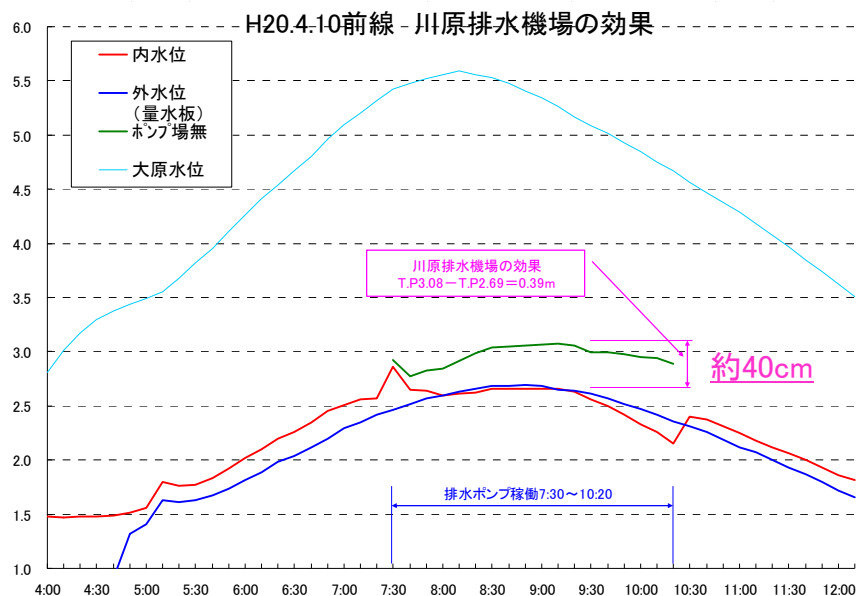
桑野川引堤事業経緯

- ・平成14年4月桑野川床上浸水対策特別緊急事業に着手
- ・平成19年3月川原排水ポンプ場完成
- ・平成20年4月10日前線による出水により、排水ポンプ場完成後、初めての出水で排水ポンプ稼働



■川原箇所における事業効果

	浸水面積 (ha)	県道浸水
現状 (排水ポンプ場)	0	なし
ポンプ設置前	29.1	なし



桑野川【川原排水ポンプ場】での
水位低減効果は約40cmと推定される。

②桑野川(補助区間)における排水ポンプ車による効果(H20.4.10前線)

補助区間明谷橋下流(H20.4.10 10:00)

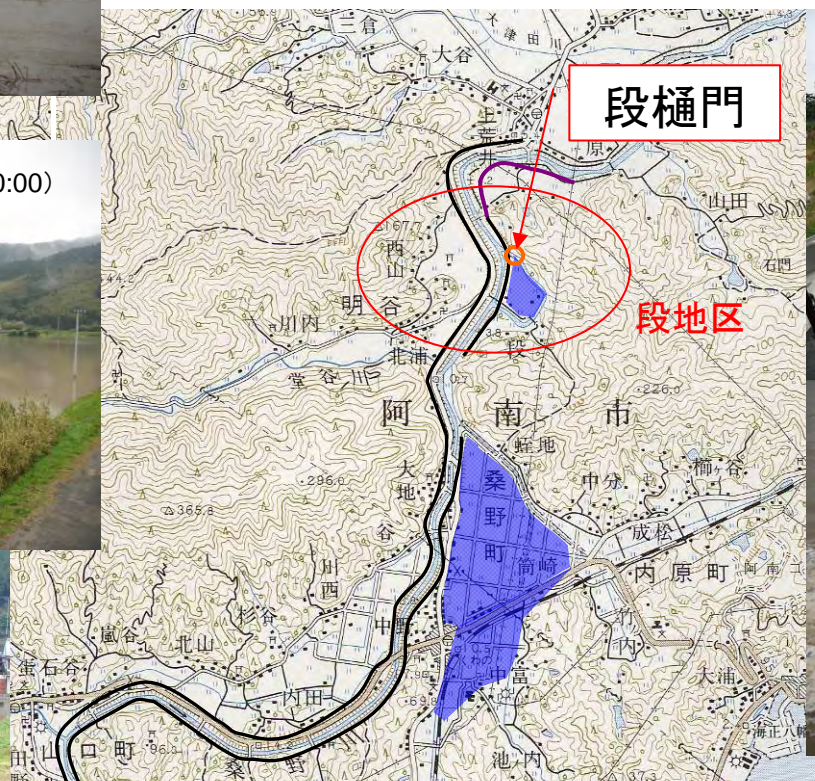


補助区間段地区(H20.4.10 10:00)



桑野川復緊事業経緯

- ・平成11年6月洪水により上流新野町にて甚大な被害が発生したため桑野川災害復旧等関連緊急事業に着手(直轄、補助)
- ・平成14年補助区間一部を残し、事業完成
- ・平成18年排水ポンプ車0.5m³/s購入
- ・平成20年4月10日前線による出水
(段樋門へ排水ポンプ車出動4/10AM9:00~11:00稼働)



補助区間段樋門(H20.4.10 10:00)
排水ポンプ車活動状況

桑野川段地区での排水ポンプ車(0.5m³/s)稼働効果は約4cmと推定される。